

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑨日本分類
92(3)D 103.2
92(3)D 141.1
92(3)D 103.1

⑩ 日本国特許庁

公開実用新案公報

⑪ 実開昭48- 54260

庁内整理番号 6687-34
6687-34
6687-34

⑫ 公開 昭48(1973) 7.12

審査請求 未請求

⑬ 電気掃除機

⑭ 実 願 昭46-96300
⑮ 出 願 昭46(1971)10月20日
⑯ 考 案 者 出願人に同じ
⑰ 出 願 人 今井寿
東京都世田谷区祖師谷1の21の
17
⑱ 代 理 人 弁理士 荒井進

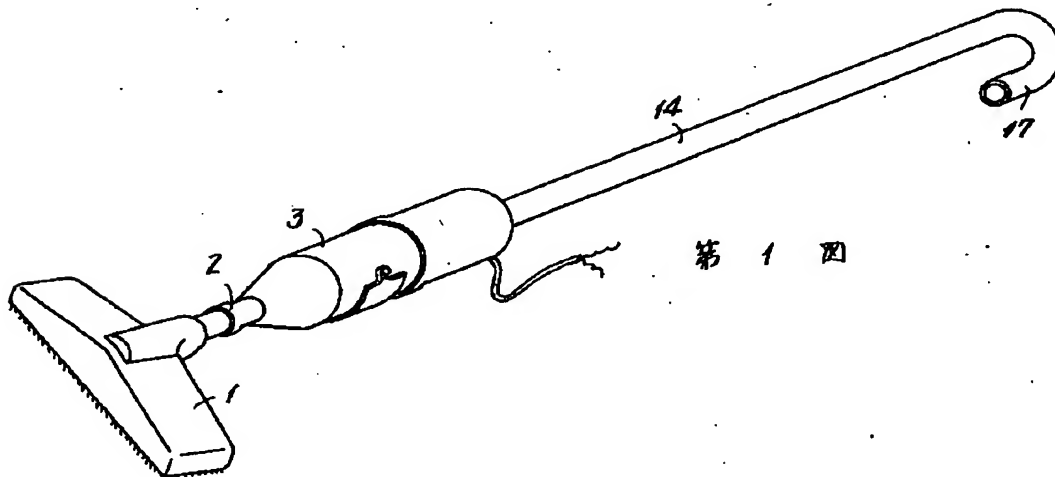
⑲ 実用新案登録請求の範囲

前端に吸込具1を取付け得るようにした吸込管2の後方に筒状の集塵室3を設け、該室を隔板4によつて前後二室に区分するとともに該隔板の中央に内筒5を保持させ、該内筒の前室内にある部

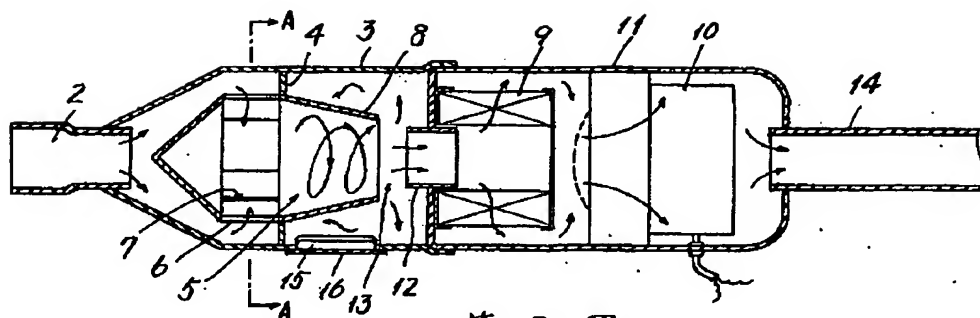
分の筒壁に多翼風車状の切窓6と傾斜翼板7とを設け、該集塵室3の後部にフィルター9およびファンモータ10を収容した筒状の吸気室11の前端を嵌合し、該室の前端中央に通気管12を附してその前端を前記内管後端中央に一定の空隙13を設けて対向させ、該室の後端中央に長管状の排気管14の前端を取付けて成る電気掃除機。

図面の簡単な説明

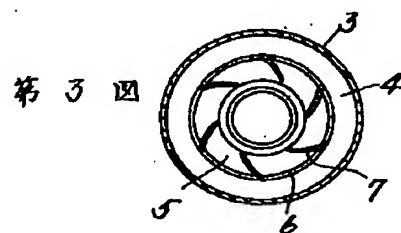
第1図は本案電気掃除機の斜視図、第2図は要部の中央縦断面図、第3図は前図のA-A線断面図で、図中1は吸込具、2は吸込管、3は集塵室、4は隔板、5は内筒、6は切窓、7は傾斜翼板、9はフィルター、10はファンモータ、11は吸気室、12は通気管、13は空隙、14は排気管を示す。



第 1 図



第 2 図



第 3 図



(1,500円)

実用新案登録願 2. 特許番号なし

昭和 年 46.10.20 月 日

特許庁長官 井 土 武 久 殿

1. 考案の名称 デニキ ソウジ キ 電気掃除機
2. 考案者 実用新案登録出願人に同じ

住所
氏名

3. 実用新案登録出願人

住所
氏名
(国籍)

セタガヤク ソ シガヤク 谷 1丁目2番17号
東京都世田谷区鳴師谷2丁目9番地
イロ イ ヒサシ
今井 房

4. 代理人 甲 145

住所
氏名

東京都大田区南十束2丁目22番15号

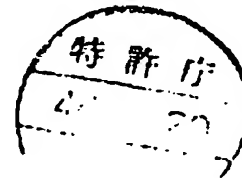
(3453)

弁理士 荒 井 進

5. 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 願書副本
- (4) 委任状写

- 1 通
- 1 通
- 1 通
- 1 通



原本は、同時に提出した願書①
に添付し、このも使用
照会済

48-54260-01

46-096300

方式 (要) 48-54260-01

明 細 書

1 考案の名称 電気掃除機

2 実用新案登録請求の範囲

前端に吸込具 1 を取付け得るようにした吸込管 2 の後方に筒状集塵室 3 を設け、該室を隔板 4 に ^{1字挿入} 5 よつて前後二室に区分するとともに該隔板の中央に内筒 5 を保持させ、該内筒の前室内にある部分の筒壁に多翼風車状の切窓 6 と傾斜翼板 7 とを設け、該集塵室 3 の後部にフィルタ - 9 およびファンモータ 10 を収容した筒状の吸気室 11 の前端を嵌合し、該室の前端中央に通気管 12 を附してその前端を前記内筒後端中央に一定の空隙 13 を設けて対向させ、該室の後端中央に長管状の排気管 14 の前端を取付けて成る電気掃除機。

3 考案の詳細な説明

本案は吸込管の一部に吸塵の遠心分離装置、フィルタ - およびファンモータを装着した電気掃除機に係るものである。

普通の家庭用電気掃除機は吸込管部分とファン

(1)

48-54260-02

~~48-54260-02~~

モータを収容した機体部分とが別体となつていて
吸込管を把持しつつ掃除を行うとき機体部分を引
續つて作業するを要し、連結管にコードがかさま
つたりして煩雜な余分の手間を要するのみならず、
機体中に集塵が詰まるとフィルターも充分奏効せ
ず、更に排気が多量の粉塵を撒き散らすため非衛
生的である等の欠点があつた。

5

本案は長形の吸込管と排出管の中間に遠心分離装
置、フィルター、ファンモータ等を順設し排出管
を把手および消音管に兼用させることにより、軽
量で吸塵力が強く、しかも騒音の発生および排気
中の粉塵が少い携行に至便で衛生的な電気掃除機
を得ようとするものである。

10

本案電気掃除機の構成を図面について説明する
と、前端に吸込具1を取付け得るようにした吸込
管2の後方にこれと同心状として筒状の集塵室3
を設け、該室を隔板4によつて前後二室に区分す
るとともに該隔板の中央に内筒5を保持させ、該
内筒の前室内にある部分の筒壁に多翼風車状の切
窓6と傾斜翼板7とを設け、該内筒の後室内にあ

15

20

る部分の筒壁を先細テーパー状 8 に絞り、集塵室 3 の後部にフィルター 9 およびファンモータ 10 を収容した筒状の吸気室 11 の前端を嵌合し、該室の前端中央に通気管 12 を附してその前端を前記内筒後端中央に一定の空隙 13 を設けて対向させ、該室の後端中央に長管状の排気管 14 の前端を取付けて成るものである。

なお 15 は集塵室 3 に設けた集塵取出口、16 は開閉蓋を示し、また排気管 14 の後端 17 は図示のように屈曲させておくと取扱にあたって管端が他物に衝突して傷つけるおそれがなく、つり下げ等にも便利である。

次に本機の作用を説明すると、吸込具より吸込まれた含塵気流はまづ集塵室 3 の前室より切窓 6 を通つて内筒 5 に入り、このとき傾斜翼板 7 の誘導によつて旋回流となり該筒より出るとき遠心力によつてその中の固形塵体を集塵室 3 後室の内壁面に向つて放出し、中心部を流れるほぼ除塵された気流のみが吸気室 11 に入る。

吸気室 11 に入つた気流はフィルター 9 によつて

ろ過されファンモータ 10 を通過して排気管 14 より外部に排出されるものとす。

本案電気掃除機は吸込管 2 と排気管 14 との間に集塵用の全機構が取付けられていて携行、使用に至便であり、狭い室内、車内または高所に登つて使用するにも好適するのみならず、吸塵は殆んど集塵室 3 中に捕集された後フィルター 9 を通過するので該フィルターは長期間正常に作用し、排気は清浄で極めて衛生的である。

集塵室 3 中に分離された塵埃は随時開閉蓋 16 を開いて取出し、また集塵室内の掃除、フィルター 9 の掃除、取替等を行うときは集塵室と吸気室 1 の嵌合部を取外せばよい。

なお排気管 14 は把手の作用を行うとともに消音効果をも奏し、また前記のように排気は極めて清浄であるが特に病室、精密作業場その他完全無塵を要求される場所で使用する場合は、管端にバグフィルター等を取付けておけば微粉塵等の排出は全面的に防止される。

4. 図面の簡単な説明

(4)

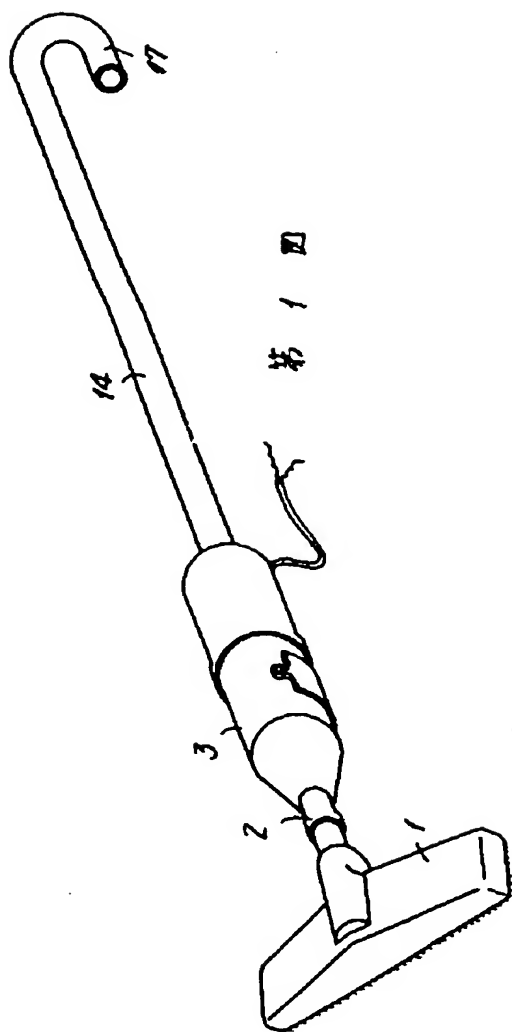
第 1 図は本案電気掃除機の斜視図、第 2 図は要部
の中央縦断面図、第 3 図は前図の A - A 線断面
図で、図中 1 は吸込具、2 は吸込管、3 は集塵室、
4 は隔板、5 は内筒、6 は切窓、7 は傾斜翼板、
9 はフィルター、10 はファンモータ、11 は吸
気室、12 は通気管、13 は空隙、14 は排気管
を示す。

代理人 荒 井 進

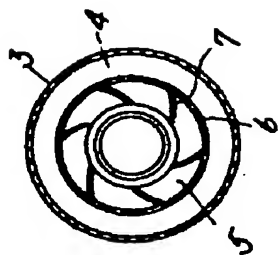
(5)

48-54260-06

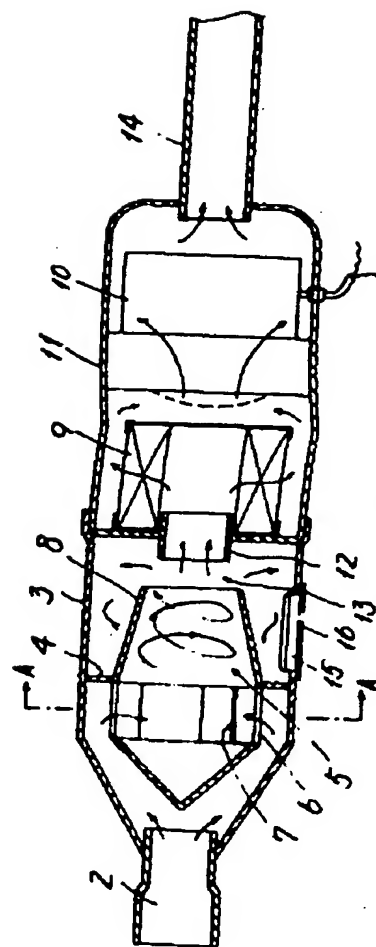
~~48-54260-06~~



第 1 圖



第 3 圖



第 2 圖

48-54260-07

~~48-54260-07~~